

アジア主要国の自動車流通市場の実態把握と課題に係る調査研究

(報告書の概要)

我が国の自動車製造業は急速にグローバル化を図っている一方で、成熟化する国内市場に直面する自動車流通業では海外展開が殆ど進展しておらず、今後アジア等の海外新興市場は新たな事業展開の可能性を有していると考えられる。

しかしながら、海外の生産動向や販売動向については既に様々な調査研究が行われてきた一方で、自動車流通・アフターマーケットについては十分な実態把握・情報整理が進んでいないのが実情である。

そこで、タイとベトナムといったアジア主要国を対象に、自動車を取り巻く産業構造・法制度・慣行について、現地調査等から現状把握をし、今後の自動車流通の課題・役割を抽出した。

実態把握と課題抽出を踏まえ、アジア主要国における健全な自動車流通・利用を促進するために今後求められる自動車流通環境のあるべき方向性を展望しつつ、その実現に向けて自動車先進国として我が国が果たし得る役割、自動車流通業にとっての事業展開の可能性について探った。

(報告書の主要構成)

- 第1章 タイ・ベトナムにおける自動車市場の現状と今後
- 第2章 タイ・ベトナムにおける自動車流通の実態と課題
- 第3章 海外でのディーラー経営の可能性を探る
- 補章 我が国自動車販売市場の現状と今後の展望・課題